

図書だより

6月号 星林高校図書館



教育実習先生に、星林生へおすすめの一冊を紹介してもらいました。
図書館で借りることができます。新刊図書もたくさん入りました♪



☆飯島美宥 先生 「おとめの流儀。」小嶋陽太郎／ポプラ社

中学生になったばかりの主人公が入部したのは、全国でも珍しいなぎなた部。変わり者の2年生1人しかおらず、主人公は必死に部員を集めます。なんとか作ったなぎなた部は、部長の独断で思わぬ相手と闘うことに。

この本は、会話文が多く、文章ばかり読むのが苦手という人にも読みやすくオススメです。またさわやかで愉快的な中学生の姿を見て、一つのことを一生懸命になって頑張ろうという気持ちになります。



☆辻瀬未来 先生 「窓ぎわのトットちゃん」黒柳徹子／講談社

現在も女優、タレントとして活躍する黒柳徹子さんの小学校での日々を描いた自伝的物語。幼いながらに「自分は人と違うのではないか」という疎外感を抱えていたトットちゃんが、トモエ学園に入学し、そこでの恩師との出会いを通じて多様性を学び、自分らしさを見つけていくというのが大まかなあらすじです。

「自分の在り方」について悩んでいた高校時代にこの本を手に取り、心が温まったことを今でも覚えています。将来に悩む高校生に読んでみてほしい一冊です！

☆石徹白ほのか 先生 「犬部！北里大学獣医学部」片野ゆか／ポプラ社

北里大学に実在する保護猫・保護犬活動サークル（現しっぽの会）を描いたノンフィクション・ストーリーです。サークル活動の葛藤や紆余曲折も含め、保護活動の現実が書かれています。2021年7月に林遣都さんと中川大志さん主演で映画化されるので、この機会にぜひ読んでみてください。



☆小根田侑雅 先生

「流浪の月」 尻良ゆう／東京創元社

穏やかな物語だと思い読んでみると、少しずつ溺れていくように錯覚する本でした。何もしない一日、休日が愛しくなり、好きを自由に感じたくなる一冊です。



☆出立理人 先生

「時をかけるゆとり」朝井リョウ／文藝春秋

「桐島、部活やめるってよ」や「何者」で有名な朝井リョウ。「時をかけるゆとり」は超売れっ子作家である彼の初エッセイ集。「戦後最年少の直木賞受賞者」と聞くと、私たちとは違う世界に住んでいると感じるかもしれません。しかしこのエッセイでは、私たちの生活と変わらない日々を過ごす彼を知ることが出来ます。読書は様々な人や時、場所をつなぐコミュニケーションツール。この本を読んで朝井リョウさんを知ってください。



☆中本大智 先生

「化物語」西尾維新／講談社

読書感想文でしか活字を読まなかった自分に、本を読むきっかけをくれた本。最初はマンガと間違えて購入したが、読んでいくうちに、その世界観と、活字でしか表現できないたくみな言葉遊びに惹かれていった。あまり活字を読まない人にもおすすめです！



☆山田向日葵 先生

「しずかな日々」 椰月美智子／講談社

引っ込み思案の少年の話です。「しずかな日々」というタイトルどおり主人公のある夏休みを静かにつづった物語。何気ない日々が積み重なって今がある。今ある日常を大切にしようと思えるような一冊です。文章を読むことに慣れることは、受験勉強をする上でも大切なことです。朝読の時間を大切にしてください。

